

「中部圏 歴史・文化を活かした地域づくりフォーラム」を開催しました！

3月9日(水)に、名古屋能楽堂において「中部圏 歴史・文化を活かした地域づくりフォーラム」を開催しました。地域の皆様が地域資源としての中部地方の歴史・文化を再認識し、それらを地域間や世代間で“つなぐ”ことでその魅力を拡大することにより、今後の広域的な地域づくりに役立てていただくことを目的とし、パネリストの方々により“つなぐ”をキーワードとして、圏域全体が元気になるための方策などを議論していただきました。

●フォーラム概要

日時：平成28年3月9日（水）13:30～16:30
場所：名古屋能楽堂 能舞台
プログラム：基調講演、パネルディスカッション
参加者：約200名



●基調講演

「歴史・文化を地域活性化に活かす」 歴史作家 童門冬二 氏

基調講演では、歴史作家の童門冬二氏から、約1時間にわたり中部地方の国づくりのルーツや、歴史・文化、思想など幅広い内容のご講演をいただきました。特に、この地域出身の武将である織田信長や各地域に根づくあゆち思想のお話は大変興味深く、これからの地域づくりのヒントを得ることが出来ました。

●パネルディスカッション

「歴史・文化を活かした中部圏の今後の地域づくり」

<コーディネーター>

名古屋市立大学 名誉教授 瀬口哲夫 氏

<パネリスト>

ラジオDJ・インバウンド観光アドバイザー クリス・グレン 氏

講師 古池鱗林 氏

トヨタ産業技術記念館 副館長・学芸員 成田年秀 氏

名古屋市 副市長 田宮正道 氏



パネルディスカッションでは、パネリストがそれぞれの立場から中部圏の歴史・文化について語り、またそれらをどのようにこれからの地域づくりに活かしていくのかについて議論していただきました。

クリス氏は、外国人の視点から中部地方の知名度の低さを指摘し、中部地方全体で観光連携を進めるためのメガウェブサイトの開設を提案しました。古池氏は、講師を目指すことが地域の歴史を学ぶきっかけになったことに触れ、こんなにもおもしろい歴史や文化がこの地域にあるということを今後も伝えていきたいと意欲を示されました。成田氏は、中部地方には製造業がたくさんあり、その技術、技能を連綿とつないでいくことが必要、またそういった製造業がもつ展示館や博物館、工場見学などがすばらしい観光資源になると述べ、産業観光も国内外からたくさんの人を呼び込む起爆剤になるのではと期待されていました。田宮氏は、名古屋市のまちの成り立ちや、現在市で取り組んでいる歴史まちづくりについて紹介、平成28年度からは新たに観光文化交流局を創設し、まちづくりに歴史・文化を活用する体制をさらに整えると報告しました。

●最後に

来場者アンケートでは、「地元の歴史について学ぶことができた」、「パネリストの立場が多様で、いろいろな視点から話を聞くことができて良かった」、「中部地方は広域のアピールが少ない。中部、愛知＝名古屋というイメージがまだまだ強い」、「もっと歴史・文化を活用した観光が必要」など、たくさんの意見が寄せられました。